

特集 お釈迦さまの物語



お釈迦さまの前世物語

ヒロマルプロジェクト「ジャータカルタ」から



ある日のこと、動物たちは食べ物を探しに出かけました。カワウソはカンスス河で魚を、山犬は里で肉と大トカゲと牛乳を、サルは森でマンガを手に取り持ち帰りま

その夜、ウサギは寝ながら考えました。「私の家に修行者の方が托鉢に見えても、お

本稿は「仏教説話大系」(すずき出版)を参考に独自に要約しました

智慧と徳を伝える「ジャータカ物語」
お釈迦さまは35歳でおさとりを開かれ、その教えは経典として伝わっています。経典の中には、人間としてこの世にお生まれになる前にもたくさんの功徳を積まれたというお釈迦さまの前世物語が説かれています。

「ジャータカルタ」で遊ぼう!
仏教との縁が生まれるきっかけにオリジナルグッズ開発などを行う若手僧侶グループ・ヒロマルプロジェクトが、ジャータカ物語とカルタを組み合わせて作ったのが「ジャータカルタ」。

仏教を開かれたお釈迦さまのお徳を「ジャータカ物語」(前身譚)を通して味わう連載「お釈迦さまの前世物語」(執筆=ヒロマルプロジェクト)の特別編です。2・3面は「今生編」としてお釈迦さまのご生涯を紹介します。



ウサギの布施

昔々、ある深い森に賢いウサギが住んでいました。ウサギには、カワウソと山犬とサルの友達がいて、仲よく暮らしていました。動物たちはみんな賢く、「おなかを空かせてたり困っている人にはお布施をしなればいけないよ」というウサギの教えをよく聞いていました。

さて、動物たちがお布施を大切に持つ気持を知ったのが、天の神さま・帝釈天です。帝釈天はウサギたちの決意が本物が試そうと、僧侶の姿になり、下界に降りてきました。

「うう、と尋ねると、僧侶は「どうか許してください。わたしはあなたを試したので」と手を合わせました。

その夜、動物たちは森の広場に集まりました。「ウサギさん、あなたこそウサギの姿を、帝釈天の姿に戻って天界に帰っていきなさい。」

物語を読んで
この物語のテーマは「布施」です。私たちは大切に思うもののほど、「手放したくない」「自分だけのものにしたい」と考えてしまいがちですが、仏教ではそうした姿を「自分のものに自分が縛られている在り方、であると宗し、自らを縛る心から解放されるための行い」として、布施を説くのです。

本願寺新報 hongwanji journal

8月1日(木曜日) 毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 千600-8501 本願寺出版社内 電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

お盆特集号(本号14ページ)

5面 季節の養生と薬膳
6~7面 北陸3県新幹線の旅
8面 みんなの法話
9面 仏事のカタチとココロ
11面 お寺の掲示板
13面 読者のひろば
14面 しりとりにワードパズル

赤光 白光
以前、お寺の掲示板に掲載する「伝道句」の執筆依頼を受けた。その一つ「枯れた木の葉は散らない。落葉は生きて証しです」という句を考えた。きっかけは、裏庭のサルズベリだった。ある時、台風でサルズベリの太い枝が折れてしまい、ふら下がっていた。やがて冬が来て、木の葉は落葉したが、折れた枝の葉は、運命共同体のように、折れた枝と共に枯れていき、落葉することはなかった。

寺院災害保険
浄土真宗本願寺派専用に独自に開発され、ご寺院の実態に応じた保険料で自然災害を含む幅広いリスクを補償!

介護補償の特約ができました! 医療+介護
人生100年時代のリスク あなたとご家族のために安心の備えを!!
あんのん医療保険
【加入対象者】浄土真宗本願寺派の住職・僧侶・寺族・門徒およびその家族

好評書籍 真宗教義の真髄「正信偈」その全貌が明かされる名講義録
正信偈講座
A5判/384頁 1,980円(税込)
親鸞聖人のみ教えはすべて正信偈に込められている